

生きた金融経済論とは

県内ロータリークラブ会員

寄付講座 八学大で開始

八戸学院大学は16日、県内のロータリークラブ（RC）会員から生きた金融経済論を学ぶ「けっぱれ金融経済論」の第1回講座を同大で開いた。本県をエリアとする国際ロータリー第2830地区と7月に締結し

た教育連携協定に基づき、来年1月まで計15回、寄付講座として開講する。

地域共創学部地域共創学科の2～4年生77人が履修を登録した。RCは企業の経営者、金融機関の関係者など回ごとに異なる講師計

15人を派遣する。

16日は第2830地区パストガバナーの花田勝彦さ



講演する花田パストガバナー

ん（五所川原RC）が講師を務めた。花田さんは前半、RCの概要や、パキスタンで行った感染症「ポリオ」の根絶に向けた活動の様子などを紹介。後半は、クレジットカードの「リボ払い」について「返済が終わる先が見えにくい」と利用時の注意点を説明した。

最後に「奉仕の理念で結び付いているロータリーに所属することを選んだ講師

の仕事を知り、個性あふれる実体験を聞くことが、皆さんが成長する一助となることを祈ります」と締めくくった。

2年・立花悠生さんは「いろいろな職業の人の話を聞けるのありがたい。今後の講義が楽しみ」、同・花部巧真さんは「RCが世界各地で活動していると知ることができた」と振り返った。（岡田圭逸）